研究指導の概要

■ ライフイノベーション学位プログラム

【課程：修 博士後期課程】

学年	学期	研究内容及び指導方法等
1年次	春（秋）	博士研究の実施にあたり、指導教員の下で、最新の専門知識だけでなく研究動向を理解し、研究目的を明確化する。 ・研究公正と適切なデータの取り扱いについて指導を受け、具体的な行動規範を明確化し、運用ルールを定める。 ・関連研究や最新の研究論文の調査に基づき、具体的な研究計画を立てる。 ・文献調査の結果や研究進捗について、研究室内および他研究室の学生を交えて、プレゼンテーションやディスカッションを行う。 ・必要に応じて研究目的や研究計画を修正する。
	秋（春）	前学期に立案した計画に基づいて、指導教員の下で、研究スキルを修得しつつ、研究を実施する。 ・研究を実施し、研究の進捗について指導教員と議論する。 ・文献調査により最新の研究動向をフォローする。 ・研究室内および他研究室の学生を交えて、研究進捗や文献調査結果に関するプレゼンテーションやディスカッションを行う。 ・1年目の研究成果を総括し、今後の研究計画について評価・検討する（達成度評価I）。
2年次	春（秋）	前学期までに得られた知見に基づいて、指導教員の下で、研究を計画し、研究を実施する。 ・研究を実施する中で、高度な研究スキルを修得する。 ・指導教員だけでなく、研究室内および他研究室の学生を交えて、プレゼンテーションやグループディスカッションを行い、最新の専門知識および分野にとらわれないディスカッション能力を修得する。 ・研究成果の解釈と意義について深く考察し、自身の博士研究が広範囲な分野での位置付けを理解する。
	秋（春）	前学期までに得られた研究成果に基づいて、研究の取りまとめを意識し、指導教員の下、研究を実施する。 ・指導教員だけでなく、研究室内および他研究室の学生を交えて、研究進捗や文献調査結果に関するプレゼンテーションやグループディスカッションを行う。 ・ディスカッションを通して最新の専門知識の修得および研究動向の理解し、研究の修正や改善を行う。 ・研究成果を深く解釈し、自身の博士研究の学術的意義を明確にする。 ・2年目までに得られた研究成果を総括し、博士論文の具体的な構成を検討する（達成度評価II）。

学年	学期	研究内容及び指導方法等
3年次	春（秋）	前学期において検討された博士論文の構成に基づいて、研究計画を立て、研究を実施する。 ・研究進捗について、指導教員と議論する。 ・プレゼンテーションやグループディスカッションを通して、最新の専門知識を修得し、研究動向を理解する。 ・研究成果の解釈を深め、研究の学術的意義を明確にする。 ・研究のとりまとめに向けた研究計画を立案する。 ・立案した計画に基づき、研究を実施する。 ・博士論文の執筆の準備を進める。
	秋（春）	研究進捗の議論や文献調査を行いつつ、博士論文の執筆を進める。 ・プレゼンテーションやグループディスカッションを通して、最新の専門知識の修得、研究動向の理解、国際通用性のある発表能力、ディスカッション能力の向上に努める。 ・研究成果を取りまとめ、博士にふさわしい能力を修得する（達成度評価III）。 ・研究成果の発表と総括を行い、博士論文を完成させる（最終審査・公開発表）。